



発行所 長野市立城山公民館  
 電話 232-3111  
 編集人 小林洋子  
 印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (29・8・1)  
 第1地区…2,800  
 第2地区…5,370  
 合計…8,170世帯

# 家庭・地域をつなぐ 《その3》 城山公民館を目指して

昨年度から「つなぐ」をキーワードに城山公民館運営を進めてまいりました。

まず、第一、第二住民自治協議会の皆様には、今まで以上に協力体制を整えていただきました。また、善光寺事務局、気象台、公文書館等、近隣の公的機関の皆様とも連携し、地域に根ざした講座を充実させることができました。

新たな試みとして、中間教室の中学生と協力して、乳幼児と保護者、県立長野ろう学校幼稚部の子とも達と保護者が参加して、異年齢交流を図る企画を行いました。これらの取り組みから、接点をもつことのなかった人々や公共施設等を城山公民館を介して地域の皆様と「つなぐ」ことの大切さが分かってきました。また、城山公民館の活動や学校を含めた公的機関に講座体験等を通して知っていただくことが、はじめの一步であることも見えてきました。

「あひるくらぶ」誕生  
 公民館を若い子育て世代の皆様に活用していただくために、「ひよこくらぶ」「あひるくらぶ」を今年度立ち上げました。「ひよこくらぶ」は、乳幼児のお子さんを育てている若いお母さんをはじめご家族を対象にした講座です。「ママのための骨盤調整ヨガ®」「乳幼児向け救命救急講座」「成長の証を残そう！手形アート」等年間9回あります。すでに、3回終了していますが、毎回定員をオーバーする申し込みがあり、キャンセル待ちをしても参加したい若いお母さんがたくさん



ハロウィンパーティー

「あひるくらぶ」は、小学生のお子さんをもつご家族を対象にした講座です。「親子木工教室」「家族の記念樹を作ろう」「親子で太極拳」等9月以降5回予定しています。親子で同じ活動を共にする中で、お子さんの意外な成長に気づいたり、お子さんが家族を見直したり、親子のつながりが深まる時間になることを願っています。

平成28年度は、市民講座受講者全体における若い世代(20〜40代)の割合は、平成27年度の5%から20%に増え、若い世代の方々に城山公民館の活動を知っていただき、期待していただけるようになったことを嬉しく思います。

今後、地域の皆様の願いを受け、家庭・地域を「つなぐ」役割を担っていきけるように職員一同努力してまいります。



また、「あひるくらぶ」は、小学生のお子さんをもつご家族を対象にした講座です。「親子木工教室」「家族の記念樹を作ろう」「親子で太極拳」等9月以降5回予定しています。親子で同じ活動を共にする中で、お子さんの意外な成長に気づいたり、お子さんが家族を見直したり、親子のつながりが深まる時間になることを願っています。



城山公民館運営審議委員会

第1回「リトミック&簡単工作」は、色んな音に耳を傾け、親子で体を動かし、パラバルーンを上下させ、子ども達は下を潜ってハイハイしたり歩いたり、大きく膨らんだバルーンの高さやカラフルな色に見とれながら、未知の世界に大興奮でした。簡単工作では、シールを貼るなど小さな子でもやれるところに挑戦する良い機会となりました。

## 親子で楽しめる 『ひよこくらぶ』 下城 象子

第2回は、地域のボランティアさんに子どもを預け、簡単なおやつ作り。トマトジュースで綺麗なオレンジ色になった蒸しパンを作り、参加した全員で机を囲みおいしくいただきました。

毎日の育児の不安や悩みを共有したり、地域の方々と触れ合ったりして子育てできる環境が、楽しく育児ができるわたしの心のビタミン剤です。

### ホタル観賞会

ホタルを見られたね！

きれいだっただね！

越峠 美帆・瑠帆子

市民講座「ホタル観賞会」に小学校3年生の娘と二度目の参加をしました。昨年はホタルを見られず、がっかりして帰ったので、今年こそはと期待しました。

前半は、ホタルの物語を聞いたり歌を歌ったりと、娘も楽しんでいました。講師の先生からのホタルの生態についての話も分かりやすく、さらにホタルを

身近に感じました。

善光寺の池へ移動してのホタル観賞

：いました！2人で大喜びの大きさわぎ!!

その日は娘の誕生日で「ホタルもお祝いをしてください」とにこにこでした。



### デジタル地球儀

触れる地球儀を体験して

城山小学校6年

市川 愛珠

母に誘われて、初めて城山公民館の講座に参加しました。会場には、1年生が両手を広げたくらいの地球儀がありまして、その地球儀は、触ると地図を自由に動かせるのです。さらに、



データを取り込めます。私が特に心に残っていることが三つあります。一つ目はブランク

トンとクジラの関係、二つ目は地震と津波の関係です。初めて知った事を画像で見られて

わくわくしました。三つ目は、CO2濃度と気温変化の未来について。このデータでは、CO2

の濃度や気温が高いほど地球儀が赤くなります。何もしなければ地球の未来に危機が迫ることが目に見えて分かります。行く

前より興味がわき、できることをしなければと思いました。

前より興味がわき、できることをしなければと思いました。

## 市民講座への参加 ありがとうございます!

### 生ゴミ

### 自家処理講座

世界にとっても大切

デイトウウイルス・ジャックス

2年前、私は息子に長野の自然を感じ親しんでほしいと思い、家族で引越してききました。前に住んでいたニュー



### 麦で作る虫籠

黄金色の虫籠

川下 美帆

麦の虫籠は写真で見かけたことはありませんでしたが、どう編めばあんなにきれいな螺旋になるのか

不思議に思っていました。講座では、要領をつかめるとスムーズに編めるようになり、無事完成しました。

編み込まれた麦は黄金色に輝きとても美しいものでした。自然の美しさを改めて感じさせられます。虫籠の中で瞬

でも難しいことでした。今回、生ゴミから作る堆肥作りのやり方を学び、これは長野だけでなく世界にとっても大切なことだと感じました。堆肥作りは、母なる自然を守り、いず

でも難しいことでした。

今回、生ゴミから作る堆肥作りのやり方を学び、これは長野

だけでなく世界にとっても大切なことだと感じました。堆肥作りは、母なる自然を守り、いず

れは私たち自身を助けることになるのです。講座に参加して、同じ関心を持つ地域の人々と知り合うこともできました。私はまだ日本語を上手に話せませんが、私が困っていると、みんなが助けてくれました。公民館の存在は、地域、新しい住人、そして世界にとっても大切だと感じています。城山公民館が私が長野市で大好きな所の一つです。

く姿を想像すると感動です。自然の素材を活かし、四季折々を楽しむ。そこに有る物で何でも作ってしまう。先人たちの暮らしに学ぶことは多いです。

1歳半の息子と虫籠を持つて蜜探しに出掛ける日が楽しみです。そう思うと、蜜が暮らせる環境を守っていききたいなと思えました。貴重な体験の場、丁寧なご指導ありがとうございました。

多くのユダヤ人を救った杉原千敏のお話

多くのユダヤ人を救った杉原千敏のお話

日 時 11月29日 水曜日 午後2時～

場 所 城山公民館 第二地区分館 二階集會室

受 講 料 無 料

申 込 山 城山公民館 電話 232-3111

ミニズのカーロと生ごみからの堆肥作り

日 時 9月30日(土) 午後2時～3時30分

場 所 城山公民館 第二地区分館1階 児童室

定 員 30名(先着順)

申 込 山 城山公民館へ ☎232-3111

※要領書をお送りいたします。一週間前までに、段ボール箱と生ごみ堆肥化の材料を差し上げます。

ほく、ミニズのカーロ、みんなで見てください!

長野のあゆみと城山

日 時 9月13日(水) 午後2時～

場 所 城山公民館 第二地区分館2階 集會室

受 講 料 無 料

申 込 山 城山公民館 ☎ 232-3111

親子講座 おひるくろぶ 第2回

家族の記念樹を作ろう

講 師 山本千穂子 (成人学校「四季をたのしむ会」講座講師)

と き 9月9日(土)10:00～12:00

場 所 城山公民館 本館102号室

参加費:500円(材料費)

定 員:10組

申 込 山 城山公民館 232-3111(平日)

9月からの市民講座のご案内

※詳しくは城山公民館 TEL 232-3111までお問合せください。



岩倉山の崩壊した跡

**足もとから知る  
わが町の成り立ち**  
連載⑤ 善光寺地震の爪あと②

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

170年前の善光寺地震（推定マグニチュード7.4）では、長野市信更町の岩倉山が崩壊しました。崩れた岩塊は犀川をせき止め、高さ60mにもなる天然ダムとなつてしまいました。天然ダムには雪融けの水がたまり、上流の新町一帯だけでなく生坂村周辺まで水没しました。20日後、



臥雲院のスギ (市の天然記念物)

この天然ダムは水圧で決壊し、大量の水が一気に長野盆地へ流れこみました。安茂里の小事では水の高さが20mはあったと記録されています。この洪水時にすべて押し流され、柳の木3本だけが残った場所が「三本柳」という地名となつたそうです。松代の城下も浸水し、下流の飯山周辺や新潟県長岡市周辺まで氾濫による被害がでたとされます。

この決壊を予測していた松代藩は、鐘やのろしなどで下流の人々に危機を知らせ、避難をうながしました。そのため、田畑や家屋は水で押し流されましたが、人的被害は最小限に抑えられました。

岩倉山の崩壊以外にも、西山区では多くの「山抜け（土砂崩落や地すべり）」が発生し、一説には4万1千ヶ所を超える「山抜け」が発生したともいわれます。鬼無里や戸隠地区でも崩落によって裾花川がせき止められ、犀川同様

に水がたまって危険な状態になりましたが、人力で掘って水を流して危機を脱したところもあります。

また、この地震で被害の多かった場所が虫倉山の山麓です。山崩れによる土砂で埋没し、ほぼ全滅状態だった集落が多かったといわれています。中条地区の臥雲院では、この時の地すべりで流されたスギが傾いたまま生きており、市の天然記念物として保護されています。

この善光寺地震が発生した時、人々はさまざまな現象を目撃し、記録として書き残しています。川中島の小松原では、地震で生じた割れ目から白い砂とにごった水が湧き「天狗の鼻水」と呼んだそうですが、これは地盤の液状化現象でしょう。また、浅川では地下から火が燃え出し「地獄の火」と呼ばれたそうです。石油や天然ガスの噴出です。これらは、今後の災害に備える上で貴重な記録です。災害が多発する昨今、災害時には「何が起ったのか」をきちんと見つめ、「なぜこうした現象が発生したのか」「被害を減らすためには何をすべきか」を考え、行動することが大切です。

箱清水公民館だより  
**公民館活動を通じ**

**元気な町づくり**

箱清水公民館は、地域にひらかれた公民館として、子ども達から高齢者まで、誰でも集い学び「元気な町づくり」の拠点として様々なふれあいの場になっております。子ども達は地域活動の体験で関わりあいをもちながら輪を広げ、「子どもは地域で見守り育てる」を目指しています。

今年度の公民館事業として4月は城山公園で「桜まつり」、5月は城山小学校で「区親睦ビーチボールバレー大会」、6月は教養講座「デジタル地球儀に触れる地球儀講演会」を開催いたしました。8月は城山公園で三世交代流お楽しみ会として、盆踊り・花火・けん玉・竹馬などで交流する「箱清水夏祭り」。

9月は70歳以上の対象者に案内状を出し、子供神楽の獅子舞い、混声合唱、軽音楽、安来節など、地域の皆さんが演じる「長寿を祝う集い」。

10月は城山公園で8団体出演のステージイベント、大好評だとき、サンマつかみ取

り、抽選会参加券と豚汁無料券付お買物券販売などイベント盛りだくさんの「第19回善光寺北参道フェスティバル」と「そば打ち体験、そば道場」。

11月は人権研修会「夢に向かって」、1月は「どんど焼き」などを計画しております。

今後も、世代間交流を図り明るく住みよい町づくりを進めていきたいと思っております。

(箱清水公民館長 釵持 鉄雄)



ステージイベントの演奏を聴く観衆

# 城山公民館 歴史シリーズ(全4回)

## 「さよなら、蔵春閣」②

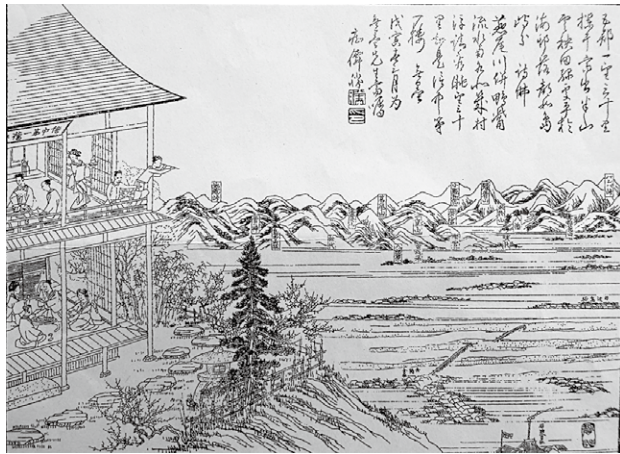
ぞうしゅんかく

### 一 そのむかし

芭蕉翁がこの城山の高台に登って「月かげや四門四州もただ一つ」と一望千里の情景を詠んだといわれるように、昔から眺望では並ぶもの

### 二 「蔵春閣」の誕生

明治19年(1886)に、町内の銀行、財界の有力者が「客人や市民のための講演会や催しものができる集会施設を造ろう」と「長野倶楽部」を組織し、「城山館」を建設、翌20年に開館しました。5月1日に挙行された開館式の招待状が東京都町田市在住の方の家に残されています。招待されたのは、その方の祖母の祖父(高祖父)に当たる越川清太郎氏です。その招待状には幹事として、小出八郎右衛門、黒沢鷹次郎、矢島浦太郎、北村英一郎ら当時の銀行や財界有力者の名が記されています。「城山館」は集会場や貸し席として利用されました。



「善光寺繁昌記」二編口絵 城山からの眺望

が、経営不振となり、明治31年(1898)7月、所有者であった信濃銀行、田中銀行支店、長野貯蔵銀行、第十九銀行長野支店から、長野市が4000円で買収し、公会堂としました。

明治40年(1907)に、翌年開催予定の「二府十県連合共進会」の貴賓接待館として城山館東館が建設され、「蔵春閣」と呼ばれました。総建坪205坪余、大広間は182畳もありました。その後、蔵春閣には音楽堂も付設され、社会教育の発展に大いに寄与するようになりました。

**城山公民館 図書室**

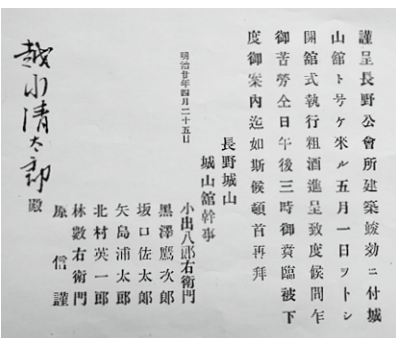
**新刊図書のご案内**

※他にもご希望の本がございましたら、お問い合わせください。

- 「この嘘がばれないうちに」 和隆 俊
- 「鬼神」 矢野 博
- 「信州やしょうまレシピ帖」 松本 NHK出版
- 「無農薬でかんたん野菜づくり」 伊集院 静
- 「大人の流儀 7」 青羽 悠
- 「星に願いを、そして手を。」 朝日新聞出版
- 「かぎ針で編む足袋ソックス&ぞうり」 朝日新聞出版
- 「決戦！ 忠臣蔵」 葉室 敦史
- 「サイレント・マイノリティ」 下村 かずひこ
- 「かさちゃんです。」 とよた かずひこ

## 編集後記

「還る月」  
「八月は遠くに住む子等帰り来るそして逝きたる夫も還る月」亡き母の歌です。  
8月は、祖先を偲び、過去を振り返らせる日本人には大切な月ですね。皆さんは、どう過ごされましたか。過去を含め、事象を正しく捉え、穏やかで明るい未来を子らに繋いでいきたいですね。  
城山公民館では、老若男女が参加できる講座や催しが計画されています。有効に活用されてはいかがでしょうか。  
(北條)



城山館開館式招待状

利用されました。中でも声楽の神様といわれた声楽家柳兼子は1918〜26年にかけてほとんど毎年招かれ演奏しました。1918年9月29日に開かれた音楽会では、独唱が柳兼子、伴奏は榊原直で、司会は五つ紋を羽織った白樺派教師の笠井三郎が行い、「白樺美術館建設」目的で行われました。その日は折からの台風で荒れ、格天井の桝板が落ちましたが、聴衆は柳兼子の素晴らしい声量のためと信じていたそうです。何とも大らかな話です。



城山公民館南のナゾの塔

森の宝物「クワガタ」